

14. 第六中学校区青少年健全育成会への「魅力ある学校づくり構想」の検討状況説明会・質疑応答（概要）

○日 時：平成 28 年（2016 年）12 月 15 日（木）19 時 00 分～

○場 所：第六中学校

質問・意見等	豊中市からの回答
学校再編より、庄内地域全体の安心・安全のまちづくりの方針が先に示されるべきではないか。 今日の説明も、決まったものではない案の説明になっている。どのように今後の地域コミュニティのあり方を決めていけばいいのか、市が一定の方向性を示してくれないと、地域で何も決めようがない。	本来であれば、安心・安全のまちづくりがどのようなものか、しっかりと方針をお示した上でご説明すべきところですが、まだ、十分に検討できておらず、本日、お示しすることができていません。 これまでも個別の事業を進めてまいりましたが、今回、まず、子どもたちの教育環境をより良くするため、優先的に、この「魅力ある学校」づくりを進めているところであります。皆さまからご意見をいただきながら、並行して検討し、作りあげていきたいと考えています。
11月の全体説明会で、千成小学校から庄内西小学校の端まで、大人が歩いて30分ほどかかったという説明があったが、実際に子どもたちが歩くと、40分ほどかかると思う。説明会以降、実際に子どもたちと一緒に歩く等、通学時間を計ることをしたのか。 安全対策については、その後具体的に検討しているのか。 放課後子どもクラブについて、冬場だと下校時刻の午後5時には真っ暗になるので、下校途中の安全面がとても心配である。例えば、放課後子どもクラブの指導員が下校途中まで児童について行く等の何か対応策を考えているのか。	実際に、子どもたちを歩かせて通学時間を計測することはまだできていません。どのような方法で検証するのか、検討したいと考えています。 放課後子どもクラブについては、こども未来部と教育委員会が連携しながら、どのような安全対策がとれるのかを検討していきたいと考えています。11月の全体説明会以降も、個別の説明会を継続して開催しているところであり、さまざまなご意見を伺いながら検討を進めていきたいと考えています。
庄内地域では、校区単位で様々な地域活動が行われている。今回の学校再編で、そのような活動が今後どのような形に変わっていくかを教えてほしい。 教育長は、当分現校区単位での活動が中心になるとおっしゃっていたが、事務方の意見はどうか。 学校跡地の利活用について、具体的な方向性が示されないと、地域で、今後の活動のあり方も話し合うことはできない。現在の校区ごとの活動も、いずれは新しい校区での活動へと移行していくと思うが、それまでの道筋をつけてほしい。学校跡地を売却し、マンションを建てれば、人口は増えると思うが、そうすると、地域コミュニティの活動場所を失うことになり、今までどおりの地域活動ができなくなる。具体的にどの学校を地域の活動場所として残してくれるのか教えてほしい。	地域コミュニティについては、地域の皆さまのご意見を尊重し、意向に沿った形で、支援していきたいと考えています。 それに応じて、施設の利活用も可能な限り、連動していきたいと考えています。今、各学校で、地域の方がどのような活動を行っておられるのか情報を収集していますが、それらを考慮した上で、「魅力ある学校」づくりの方向性が固まった後に、学校跡地の利活用の方向性も決まっていくこととなります。学校跡地の利活用については、敷地の売却を念頭に置いて検討しているわけではなく、全体のまちづくりを考えた上で、まずは、地域活動の弊害にならないようにしていきたいと考えています。 「魅力ある学校」づくりは、構想案の段階であり、具体的に学校跡地をどうするか、今の段階でお示しすることができません。

(仮称)南部コラボセンターについて、当初の説明では、庄内公民館、庄内出張所、労働会館等の老朽化に伴って、公共施設を集約・新設すると言っていたが、2月の説明会では、それらの施設よりさらに古い庄内駅前建物を購入し、そこへ出張所の一部の機能を移すという案が示された。駅前は確かに利便性が高いが、当初の説明と相反するので、不信感を抱いている。	(仮称)南部コラボセンター構想について、皆さまに不信感を抱かせてしまいましたことを、しっかりと受けとめ、いただいたご意見を参考にし、今後も検討を進めてまいりたいと考えています。
庄内小学校、第六中学校の敷地で工事を行っている間、付近の住民の避難場所はどこを想定しているのか。南海トラフ地震など、大きな地震が起こればと予期される中、どこに避難したらいいのか。	避難場所については、担当部局である危機管理課と連携し、防災の様々な観点から、仮開校時の避難場所も含めて、検討を進めていきたいと考えています。
小中一貫教育のメリットはわかった。もちろん小中一貫教育ならではの課題もあるのだろう。 庄内地域の課題については、今から向き合っていかなければならないのではないかと。例えば、学力だが、学年が進めば進むほど、「勉強がわからない」と言う子どもが多くなるようだ。今からできる手立てとして、低学年から丁寧に学習指導をしてほしい。 仮開校時に子どもが受験をむかえる保護者は、不安を感じているという話もよく聞く。何かしらの配慮してほしい。	「魅力ある学校」づくりは、子どもたちが夢を持つだけでなく、確かな学力と、自分に自信を持って、将来に進むことができる教育環境の整備をめざしています。 現在の庄内地域の各学校でも、厳しい状況に置かれた子どもたちの生活・学習課題を解決するために、さまざまな取り組みをしていますが、今後も引き続き支援を進めていきます。 新しい学校では、その取り組みを結集させ、さらに高めていきたいと考えています。 工事期間中は、教育環境の変化により、子どもたちに負担をかけることになってしまいますが、その環境変化が良い経験につながったと思ってもらえるように、しっかりと対応していかねばならないと考えており、具体的な支援方法等を検討していきます。